

折り鶴プロジェクト（仮称）について（案）

1 名称・コンセプト

(1) 名称

折り鶴ウェーブ –中央区おもてなしプロジェクト–

（英語）ORIZURU Wave –Chuo City OMOTENASHI Project–

(2) コンセプト

折り鶴を通じて世界の人々とつながる 平和と文化のおもてなし

（英語）Openness and Globalism

Peaceful and cultural OMOTENASHI

2 目的

「スポーツと平和の祭典」である東京2020大会開催の機会に国内外から本区を訪れる人々に対し、平和の象徴である折り鶴を作製して手渡すことで、地域が一体となって大会開催の気運を醸成し、本区ならではのおもてなしを展開する。

3 参加者・対象者

(1) 参加者（折り鶴作製や袋詰め等を行う者）

区内在住・在勤・在学者（全ての区民）

(2) 対象者（折り鶴配布の対象者）

大会期間中の来街者

4 折り鶴

(1) 想定する作製数

5万羽

(2) 折り鶴を作るための紙

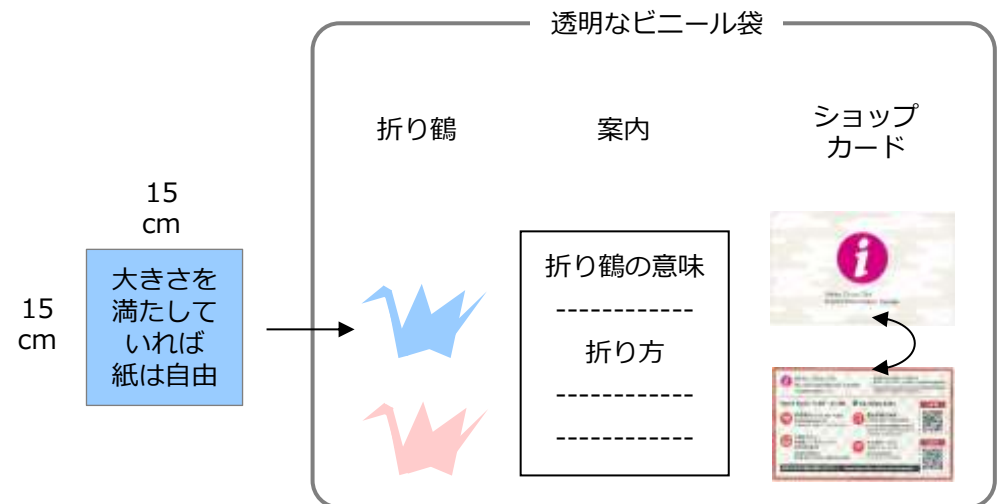
15×15cm の大きさであれば基本的に自由。

※営利目的や特定の主張を行う目的の表示、大会スポンサーのマーケティング活動を妨害する恐れのある表示がある紙は不可。

(3) 来街者への配布

透明なビニール袋に以下のものを入れ、配布する。

- ・折り鶴（複数羽）
- ・折り鶴の意味や折り方等を記載した案内
- ・中央区観光情報センターの案内カード（ショップカード）



5 周知等

(1) 区内全般への周知

区のおしらせ、区 HP 等により本取組の趣旨を周知し、区民へ参加を呼びかける。

(2) 作製依頼

多様な人々に広く参加してもらうため、児童・生徒、高齢者、障害者の施設や団体へ作製依頼を行う。

※作製依頼に当たっては、区で準備した折り紙を各施設・団体の人数に応じた数送付する。

キックオフイベントの実施

① 目的

折り鶴プロジェクトの取組内容を広く周知するため、事業開始のイベントを開催し、参加者に折り鶴を作製してもらうことで一体感の醸成と取組の普及を図る。

② 概要（予定）

- ・開催時期 平成31年(2019)7～9月頃
- ・開催場所 京橋・日本橋・月島の3地域
- ・対象者 区内在住・在勤・在学者（全ての区民）

6 回収

折り鶴募集期間中に本庁・両出張所へ回収箱を設置し、区民が作製した折り鶴を回収する。回収した後に検品も行い、折り鶴が来街者に渡せる状態かどうかを確認する。

7 袋詰め

回収した単体の折り鶴を配布できる状態に袋詰めする。

ボランティア作業会の実施

① 目的

回収した折り鶴を袋詰めするボランティアを募集のうえ作業会を開催し、折り鶴配布に向けた準備を進める。

② 概要（予定）

- ・開催時期 平成32年(2020)1～3月頃
- ・開催場所 京橋・日本橋・月島の3地域
- ・対象者 区内在住・在勤・在学者（全ての区民）

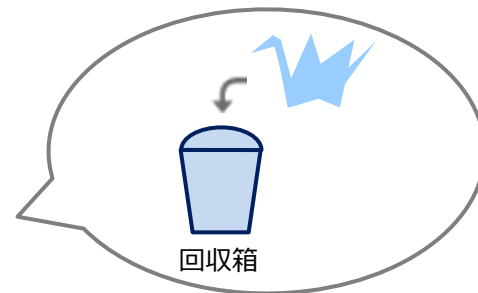
8 配布

区内観光案内所等を配布拠点とし、運営に携わるスタッフが来所者への対応の中で配布を行う。

あわせて、区民が配布できる機会の創出や、商店街や各店舗等に対し配布について協力を依頼することも検討していく。



本庁・出張所



回収箱

